



「亀山市農援ボランティア」の登録受付開始について

亀山市では、市内農家の高齢化等に伴う労働力不足の解消や担い手不足から生じる未利用農地の発生防止、また、農業への興味や理解を深める機会創出のため、来月から新たに「亀山市農援ボランティア」の登録受付を開始します。

亀山市農援ボランティア制度は、市内の農家数が20年(平成12年—令和2年)で半数程度まで減少し、市内農家の労働力不足や担い手不足から生じる未利用農地の増加が進む中、市内農家と市民や学生など農業に関するボランティアを行いたい方をマッチングする新たな仕組みです。

すでに、野菜や水稻の栽培農家など11名の市内農家から、ボランティアの受け入れをお申し込みいただいています。農家とボランティアのマッチングを通じて、種まきや収穫など農家の労働力の確保につなげるとともに、農作業によるリフレッシュ効果、さらには農業を通じた地域コミュニティの活性化が期待されます。

登録は、8月1日から随時受け付けます。農業に興味がある方やボランティアに興味がある方は、市内外問わず募集していますので、ぜひご登録ください。多くの方のお申し込みをお待ちしています。

詳細につきましては、別添チラシをご覧ください。